

きさらづ市民ネットワーク 市議会議員

12月議会

田中のりこの議会速報



◆発行/きさらづ市民ネットワーク ◆木更津市真舟 4-19-24 TEL&FAX 36-0677

◆発行日/2013年12月18日 ◆田中のりこHP/

田中のりこと市民ネット

検索

PFI方式での建設と維持管理・運営のためにH26~43年度 101億 その後もH54年度まで

起債の返済は続く 総額 110億3千万円新庁舎建設

①今の市役所は、耐震診断で、IS値が0.9必要なところ、0.2以下。大地震に持ちこたえられず、早期建設が急がれます。

②市民も参加しての委員会ができて、基本構想、基本計画もできました。

④市民サービスが低下しないよう、収入源は？ お財布事情は？身の丈？ 議会には、一度も規模の縮小の話はなくて不安。

⑤12月議会では、新庁舎建設の今後支出を予定する額（債務負担行為）が93億円の議案がありました。

③建設プランがだんだん大きくなって…。



PFI方式…民間が自ら資金調達を行い庁舎を建設。その後の庁舎維持管理の業務委託をセットの契約

PFI方式で新庁舎建設

行政の財布は、単年度収支なので、年度をまたいだ大きな買い物ときは、今後支出する予定額（債務負担行為93億円）を決め、議会の議決となる。家でたとえると、家を建てるため、ローン返済枠を決める段階。新庁舎建設に総額110億3千万円。貯金（基金）10億円と銀行からの借金（起債）30億円を用意。ローン返済プランは下記参照。

H26	5200万円
H27	1090万円
H28	10億1100万円
H29	3億5900万円
H30	4億7200万円
H31	4億7200万円
H32~43	毎年 約6億円
H44~54	約1億5000万円

私は12月議会の総務常任委員会で、下記の理由で修正動議を出した。



結果は4対2で修正案は否決。本議会最終日12/17も原案どおり賛成多数。庁舎建設はスタートすることになった。

市民サービスを

低下させないで

建設費よりも、確保するのが扶助費（障害福祉・児童福祉・生活保護・高齢者福祉などの社会保障の給付費）。次に、職員の人件費、ローン返済の公債費、残りが建設

事業費である。財政にゆとりがないと、災害時でもすぐに対応できない。市民サービスを低下しないためには、収入をふやすことが重要。

収入源は、どう見込んでいるのか尋ねると「土地開発公社経営健全化に伴う土地購入費の返済額が少なくなった分がある。また、市税収入が前年度より2%アップしている。H24年度並の枠内で事業を行えば」という。なんとかかなりそうとはずいぶんアバウト。各事業も調整をして3月に財政計画を出すという。市内には、2030年までに築50年以上の公共施設は55%。生活保護は高齢者夫婦の増加とともに増え続けている。

今議会の決定が、後世に恥ずかしくないようにしてはならない。議会での行財政運営の監視が、ますます重要となる。

